

男女共同参画推進室便り



神戸大学男女共同参画推進室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 tel. 078-803-5017 fax. 078-803-5285 分室 tel/fax. 078-803-5471

男女共同参画推進のための取組み—セカンド・ステージへ

23年度より、更なる男女共同参画の推進へ向け、全部局より協力教員を各1名選出し、4部会を設置する体制がスタートしました。各部局のニーズに対応した組織体制の構築を目指しています。順に、各部会：**キャリア形成支援部会**、**両立支援部会**、**調査・教育・啓発部会**、**加速プログラム運営部会**についてご紹介していきます。

両立支援部会

両立支援部会では、育児と研究の両立を支援する活動や制度づくりをしています。子供が小さい間は研究に没頭する時間の確保が難しいので、「子育て中の男女研究者支援」制度で研究補助者の雇用を行っています。今年度は16名の支援をしました。また、病後児・夜間・休日保育ベビーシッター料金の一部補助を行っています。現在学内で検討中の事案は、六甲台キャンパスでの「一時預かり保育施設」の設置です。一時預かり保育とは、通常は居住地の保育所に通園するか家庭に保育者が居る場合で、一時的な事情で保育ができない日（例：保育園の休園日、乳幼児の病後、保育者の入院・不在など）に対応する制度です。最近では、大学や独法研究所などで次々開設されています。居住地での通常の保育は市町村が福祉の一環として費用を負担します。一方、大学の一時預かり保育とは福祉とは目的が異なり、男女共同参画の観点による「職務遂行のための支援」です。継続的な保育の費用を大学が負担するものではありません。子育て中ではない方々にも、この支援の重要性と一般の保育園との違いをご理解いただければと思います。昨年度から実施している入試日の一時預かり保育も目的は同じです。私は神戸大学に赴任する前の所属機関で、一時預かり保育室の設置に関わりましたので、その経験も生かして設置のための作業を続けてまいります。皆様には、両立支援についてのご要望を、今後お願いいたします。

両立支援部会長
黒田慶子
農学研究科 教授



2010年に森林総合研究所地域研究監より神戸大学大学院農学研究科教授として着任。専門は森林病理学、樹木解剖学、萎凋病の発病メカニズム解明の研究と共に、健康な里山づくりの観点で、出前講義やNPOの指導にも力を入れている。写真は野外演習のひとつ。

大学における男女共同参画を一層推進するために

国際シンポジウム Women in Science and Education —平和、多様性、衡平—を開催しました

神戸大学男女共同参画推進室は、国際シンポジウムを11月7日に出光佐三記念六甲台講堂にて開催しました。

まずユネスコ事務局長イリーナ・ボコバ氏よりご講演がありました。次世紀に向けて私たちが解決しなければならない重要な問題、衡平で持続的な成長、持続可能な開発、恒久的な平和などに対する答えを科学が与えてくれること、そして科学は男女共同参画を促す土台であり、科学分野において男女共同参画の教育が重要であることが述べられました。続いて、メルボルン大学イングリッド・シェファー氏（ロレアルユネスコ賞2012年度受賞者）からは、米国や豪州のような比較的前向きに男女共同参画を考えている社会でさえ、微妙な性差別により、ガラスの天井と言われる見えない壁で女性の昇進が妨げられているとの指摘がされました。最大限の成功を確実にするために、どのように女性のキャリア育成をする必要があるか、多忙な科学者のキャリアの中で、人生への全体的アプローチを可能にするバランス術について紹介されました。また、国立女性教育会館理事長 内海房子氏は、国立女性教育会館が、日本国内の女性のエンパワメントに尽力してきたこと、また、唯一の“National Center”として国際的窓口となると同時に、アジアの女性リーダー育成に貢献してきたことについて紹介がありました。講演に続いて、本学において科学技術人材育成費補助金女性研究者養成システム改革加速プログラム（加速プログラム）の対象の研究科ですでに採用を行っている、人間発達環境学研究科長 朴木佳緒留氏、工学研究科長 小川真人氏、農学研究科長 内田一徳氏 自然科学系先端融合研究環長 野海正俊氏によるパネルディスカッションを行いました。加速プログラムが始まる前は女性教員を女性枠で採用することに対する不安があったが、実際に採用してみると、優秀な女性教員を採用することができ、今女性研究者がいて当たり前という認識が広がっていることが述べられました。いずれのパネルも、自然科学系の研究科においても30%ほどの女性教員がいるのが妥当ではないかという意見でした。今後は、女子院生を増加し、母集団を大きくすること、男女ともに働きやすい職場にするために、保育所の設置など両立支援策の拡充を行う必要があることなど、取り組むべき課題が提示されました。





本郷 千鶴

(ほんごう ちづる)

東京農工大学大学院工学研究科博士前期課程修了の後、東京医薬専門学校非常勤講師を務め、東京農工大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。大阪大学大学院理学研究科・工学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科にて特任研究員を経て、2012年8月より自然科学系先端融合研究環重点研究部助教。工学研究科応用化学専攻応用高分子化学研究室に所属。

着任教員のご紹介

神戸大学に着任して4か月が過ぎました。先生方に多くのご支援・ご助言を頂きながら日々、研究の立ち上げに奮闘しております。生体高分子の構造と物性の相関を明らかにすることで高機能材料を創製することを目的とし、コラーゲンをを用いて研究を進めております。研究室での実験や測定に加えて大型放射光施設SPring-8での測定のチャンスも与えて頂き、学生と共に学びながら新たなテーマに取り組んでおります。研究室遠征や学会発表、セミナー講演、学会誌の座談会企画などにも参加させて頂きました。研究を発展させ面白さを学生に伝えられるよう研究・教育に励んでいきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

吉田 康子

(よしだ やすこ)

筑波大学大学院生命環境科学研究科博士後期過程修了、博士(農学)。博士号取得後、筑波大学の非常勤研究員を経て、2012年9月より農学研究科附属食資源教育研究センターに助教として着任。



食資源教育研究センターは、加西市にある農学研究科附属の農場です。近年では、自分が普段食べている野菜がどのように栽培・収穫され、またどのような花を咲かせるのかなど知らない学生が多くなっています。ここでは、農場実習や研究の栽培・調査を通して、学生が自分の興味ある現象や形質を能動的に見つけることができる機会も多くあることから、これからの農学を支える学生を育てるには適した環境です。さらに収穫された生産物を神戸大学ブランドとして販売しており、教育・研究に加えて、生産から販売にまで関わる事ができる、やりがいのあるこの場所で地域貢献をしていきたいと思っております。

第二回男女共同参画貢献賞

国際協力研究科教授 アレキサンダー・ロニー氏

男女共同参画貢献賞は、男女共同参画の推進に貢献した功績が極めて顕著であると認められる本学の職員又は複数の職員で構成されたグループに対し、その功績を称えるとともに、今後の一層の活躍を願って男女共同参画推進室長から表彰を行うものです。

第二回男女共同参画貢献賞は国際協力研究科教授アレキサンダー・ロニー氏が受賞されました。

受賞理由：アレキサンダー先生は、未だ六甲台に女性教員のいなかった1989年に法学部に赴任され、その時から男女共同のために必要な様々な事柄に対して発信し続けてこられました。男女共同推進室には協力教員として立ち上げ以来かわり、「男女共同参画とジェンダー」の講義にも毎年協力されている。推進室設立以前においても部局内の人事や運営、「なんでも相談」窓口の設置などを通して、女性が安心して研究できる環境づくりに力を注ぎ、女性研究者を支援してきた。また学生委員として、また一教員として時間を問わず公平な視点で、教員や学生からのセクシュアル・ハラスメントをはじめとするあらゆる相談に乗り、研究や教育においても実践的に男女共同参画へ大きく貢献されてきた。

おめでと〜うございませ〜す

国際シンポジウム内で次の方々へ各賞が授与されました

デザイン最優秀賞

キャッチフレーズ最優秀賞

男女共同参画推進室では、平成24年11月7日開催の国際シンポジウムにおいて来場者へ配布するグッズ(クリアファイルとノートパッド)へのデザイン及びキャッチフレーズを募集しましたが、それぞれ次が最優秀作品に選ばれました。

デザイン

工学研究科応用化学専攻助手 小柴康子氏



受賞理由：六甲の山と神戸の海を描くことにより神戸大学のイメージを、異なる4色のクローバーをシンボルにすることにより男性も女性も個性を生かして社会で生きることイメージでき、神戸大学のイメージと男女共同参画のイメージを上手く調和させており、またその先に幸せな明るい未来を想像できる点で、本作品を最優秀作品とした。

キャッチフレーズ

国際コミュニケーションセンター准教授 石川 慎一郎氏
Kindness, Openness, Brightness, and Equality for Women and Men

—Yes, we are KOBÉ University!—

受賞理由：男女共同参画の理念を具現化するキーワードを入れていること、また、そのキーワードがK・O・B・Eを頭文字とする4つの単語で表現されることにより、本学構成員にとっては身近なキャッチフレーズになると考えられる点で、本作品を最優秀作品とした。

分室のご案内

男女共同参画推進室の分室にもお気軽にお立ち寄りください。

場所：自然科学総合研究棟2号館101号室

神戸大学 男女共同参画推進室

男女共同参画推進室シンボルマーク

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL 078-803-5017 / FAX 078-803-5285 分室 TEL / FAX 078-803-5471

Email: gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp

HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html>

